

評価シート

耐震	部位	壁	分類	閉鎖型	有効期限	2026年3月31日	評価番号	A-326	
評価技術名称					連絡先	https://www.aichi-gensai.jp			
構造用合板補強工法					愛知建築地震災害軽減システム研究協議会				
真壁「1間 横使い」アルミ材下地					実験実施機関 : 名古屋工業大学				
技術概要									
構造用合板を横向きで用いて、1間の壁面を裏抜きなしアルミアングル下地の真壁仕様で補強する工法。									
技術の特徴							コスト		
<ul style="list-style-type: none"> <li>1間の間に柱がない真壁に有効</li> <li>壁体内に土壁や設備配管等が存在しても施工可能</li> <li>真壁の仕上がりで補強が可能</li> </ul>							サンプル構面	83,039 円/kN	
							設計見積り例	—	
適用範囲					写真・図				
構法	木造在来軸組工法								
規模	3階建て以下								
基礎、地盤	特になし								
適用部位	内外壁								
耐震性能									
評価仕様: アルミアングル下地 真壁仕様									
壁基準耐力		壁基準剛性							
1.56kN/m		219kN/rad./m							
A-111からの低減係数 $\alpha = 0.3$									
壁基準耐力 $5.2 \times 0.3 = 1.56$									
設計方法									
① 柱接合部による低減 : 取付部分が健全であること									
② 劣化による低減 : 取付部分が健全であること									
施工者指定									
特になし									
主要構成部材の仕様									
構造用合板	真壁、厚9mm、横使い、各高さ400mm以上、タッピングビスφ3×L30、木ビス(コーススレッド)φ3.8×L32、セルフドリルネジφ4×L30のいずれか、@100mm以下、四周打ち、端あき15mm以上20mm以下								
アルミアングル	アルミ不等辺アングル 9×40 t=1.5 またはこれ以上のサイズのもの								
(四周)	JIS H4100 の A6063-T5 材(アルミ建築構造設計基準で AS110 材)またはこれと同等の強度を有するもの								
木ビス(コーススレッド)	φ3.8×L32、先孔φ3、アングル角部を斜め打ち、@100mm以下								
間柱	なし								
継手受材	なし								
上下受材	なし								
四方受材	なし								
下地材	なし								
かさ上げ材	なし								
アルミアングル納まり図					概念図				
○良い例									
×悪い例									
木ビスはアルミアングル短辺の中央付近に打たず、なるべくコーナー付近に打つ					構造用合板が浮く場合はアルミアングルに先孔を用いる				